

# しほんちやくしよくふ どうみょうおうに どうじぞう 紙本着色不動明王二童子像

平成8年3月9日 八潮市指定有形文化財（絵画）

●八潮市大字八條 1763 番地（清勝院）

中央の不動明王は、肉親青黒で斜め左を向いており、不動明王が斜め右を向く図像が多いなか、珍しい構図をとっている。不動明王を覆う火焰光には迦樓羅（仏法を守護する大鳥）が確認できる。画面向かって右に矜羯羅童子、左に制吒迦童子を配し、不動明王と矜羯羅童子の間に一条の瀑布が落下する。

本図は、南北朝期の臨済宗夢窓派の僧・竜湫周沢の作風を模した妙沢様の不動二童子像を一幅にあわせて構成したもので、妙沢様の発展した作品として貴重である。

制作は室町時代と推定され、縦 155 センチ・横 112 センチの大作である。



（巻止墨書）

天保六未宿曜五月廿八日

此不動尊河内通法寺大般若転読之砌

同寺滴弟成識法印貫与 豊山三省端

武州祐実

聖者筆ニモヤ人師筆七百年過到来尊形也

全尊師祐尊臨終仏ニ表具開眼ス不動法五十箇座

◎公開の有無：非公開

◎その他の文化財：清勝院山門（常時公開）

絹本着色虚空蔵菩薩像（非公開）

絹本着色理趣会曼荼羅図（非公開）

木造不動明王立像（非公開）

◎交通案内

- ・八潮市コミュニティバス北ルート「和平橋」下車すぐ
- ・草加駅東口または八潮駅北口からバス（八潮団地行）「八潮団地」下車徒歩2分



本図は電子地形図 25000（国土地理院）を加工して作成したものです。